

徳島駅周辺まちづくり計画（素案）に係る  
パブリックコメント手続の意見取扱結果

意見募集期間 : 平成 30 年 3 月 26 日から平成 30 年 4 月 25 日まで  
(31 日間)

意見提出者数 : 8 人

提出意見数 : 17 件

構想の修正 : いただいた御意見に対する市の考え方は、別紙のとおりであり、今回、御意見に基づく修正はありません。  
なお、御意見につきましては、今後、本計画を推進していく上での参考とさせていただきます。

番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>市役所と県庁の間に新駅を作るべき。警察、裁判所、検察、医師会、中洲市場など利用者は多い。</p> <p>徳島県内の学区制を廃止し、既存の学区外から徳島市中心部の高校にJR線で通学しやすくするべき。JR線での通学が一般的になれば、徳島駅周辺に若者は自然に増えるはず。</p>	<p>公共交通の利用促進については、パーク＆ライド型駐車・駐輪場の整備や、公共交通ネットワークの再編等について検討することとされていますが、必要に応じて柔軟に計画内容の検証・見直しを行い、円滑なまちづくりを進めてまいります。</p>
2	<p>JR線のホームは徳島線と牟岐線の乗換が容易にできるような構造にするべき。</p>	<p>本計画（素案）においては、公共交通の利用促進のため、鉄道とバスなど、公共交通が相互に連携した利便性の高い公共交通ネットワークの再編に取り組むこととしております。いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>新町川以南を1期、以北を2期として分割実施してほしい。花畑踏切よりも、八万の徳島製粉の所の踏切（新開第二踏切）や、富田の100円ショップのある複雑怪奇な踏切交差点（横土手踏切）の方が危険すぎる。</p> <p>鉄道高架は、徳島県の案に沿って阿波富田や二軒屋の早期の先行整備をしてほしい。30年前から鉄道高架と言われているが、いまだに議論では・・・。</p>	<p>鉄道高架とまちづくりの早期実現に向け、徳島県やJR四国等の関係機関との協議を進めてまいります。</p>
4	<p>鉄道高架事業の見通しが立たない現状では、計画（素案）にとどめておき、県やJR四国と事前協議をしてはどうか。</p>	<p>鉄道高架とまちづくりの早期実現に向けて、徳島県やJR四国等の関係機関と協議しながら、まちづくり計画の深度化を図ってまいります。</p>
5	<p>高架後の線路を北へ移動させると、列車の発着がカーブで行われるようになる。運転動作が難しくなるし、乗客の安全性に問題はないのか。また、列車の発着に時間がかかり、ダイヤに影響が出るのではないか。</p>	<p>鉄道高架の線形変更については、徳島県及びJR四国と協議しながら、安全性や利便性についても十分な検討を行ってまいります。</p>
6	<p>徳島市や徳島県で仮想通貨を作り、国内取引所に上場してまちづくりや公共施設整備、イベント運営資金を獲得できないか。</p>	<p>クラウドファンディングやネーミングライツ制度等の活用など、新たな財源の確保を検討してまいります。また、収益性を持ってまちづくりに取り組める担い手を育成・確保するなど、官民協働のまちづくりを進める方法についても検討してまいります。</p>
7	<p>歩けるまちも良いけれど、高齢者にやさしいまちでは、この先集客は見込めないと思う。それならば、アニメのまちに特化して、日本のアニメが全部集まり、コスプレや撮影会などができるような、アニメでいっぱいのもちづくりはどうか。外国人にも大いに受け入れられるはず。</p>	<p>駅前広場等の空間をイベントの開催や様々な活動に使用できる公共空間へ再整備することにより、にぎわいを創出してまいります。いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見の概要	市の考え方
8	<p>見た目を重視したまちづくりによって県内外から人を呼び寄せることができる。</p> <p>例：藍色に染める 徳島駅周辺の公共施設や施設内の布・皮製品を阿波藍から作った染料で染める。</p> <p>例：藍色で描く 公共施設の外壁等に、藍色のウォールアートを描く。徳島出身または在住のアーティストによるアートを徳島駅周辺に点在させる。</p>	<p>まちづくりにおいて、デザインが担う役割は大きいと考えております。いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>県市も積極的に関与し、高層階は居住、低層階には市内に点在する公共公益施設を集中的に駅前に整備することにより、コンパクトシティの構築を目指す。</p>	<p>上位計画である本市のまちづくり総合ビジョンや今年度策定予定の立地適正化計画等との整合を図りながら、コンパクトで、活気あふれる利便性の高いまちづくりの実現に取り組んでまいります。</p>
10	<p>創業を目指す人たちのための活動拠点となる場所を提供するとともに、ビジネス関連書を主体とした県市合築の図書室を設置し、学習室、自習室を充実するなど、徳島の将来を創造する空間を駅前に設置する必要がある。</p>	<p>いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>歩行者の安心、安全な道路利用のためには、自転車、自動車と平面を分離することが最適だと考えるので、徳島駅前から阿波おどり会館までの道路部分の2階に連絡橋を設けて、車いす、ベビーカー、キャリーバッグ等を用いる人が、ストレスなく歩きやすい、やさしいまちを目指してほしい。</p>	<p>本計画（素案）では、にぎわい交流軸（中央公園～眉山）の形成において、全ての人々が安全・快適に移動・回遊できる道路空間と、上質で居心地の良い滞留空間への再編を進めることとしております。いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>裁判所前の交差点は、マリンプピア方面から地下トンネルで11号下をくぐり、郵便局前まで流入できるようにするべき。</p> <p>徳島東インターチェンジの完成に伴って、裁判所前の交差点が確実にボトルネックになるため、徳島東ICと徳島駅前（192号）への接続で徳島本町交差点の東西をアンダーパスにするなり考慮すべき。</p> <p>渋滞緩和と緊急車両の通行のため、八百屋町交差点からの国道192号アンダーパスを6車線道路にしてほしい。渋滞を少しでも解消して不便がなくなるようお願いしたい。</p>	<p>本計画（素案）では、鉄道の高架化を図りつつ、国道192号アンダーパス部分の4車線整備や鉄道横断動線の整備に取り組むこととしております。</p>
13	<p>一番町モール化については、渋滞への対策のため、少なくとも徳島駅から八百屋町交差点への方向は2車線にしてほしい。</p>	<p>本計画では、駅前広場の整備に合わせて一番町のモール化（歩行者空間への再編）を進めることとしております。</p>